

第3回情報交換会【埼玉県の日本語教育】

日時 2025年7月26日(土)

会場 北浦和：国際交流基金国際日本語センター

プログラム

- 14:00 開会のご挨拶
- 14:10 来賓ご挨拶 降旗友宏氏(文部科学省 日本語教育課長)
- 14:30 埼玉県の国際化と日本語教育の取組 安部里佳氏(埼玉県県民生活部国際課 課長)
- 14:45～16:30 パネルディスカッション「埼玉県における行政・地域・大学・日本語学校における取り組みとこれから」
- モデレータ 佐藤郡衛氏(国際交流基金日本語国際センター 所長)
- コメンテーター 松尾恭子氏(公社)国際日本語普及協会(AJALT)
- ① 「親子参加型日本語教室の実践から見えてきたもの」 高柳なな枝氏(地球っこクラブ2000)
 - ② 「埼玉県国際交流協会の取り組み」 新船孝子氏((公財)埼玉県国際交流協会 事務局長)
 - ③ 「与野学院日本語学校における地域連携に向けた取り組み」 谷一郎氏(与野学院 日本語学校 校長)
 - ④ 「日本語教員養成課程における、学生と地域の子どもたちとのつながりを作る試み」
稲田朋晃氏(十文字学園女子大学 教育人文学部 文芸文化学科 准教授)
松永修一氏(十文字学園女子大学 教育人文学部 文芸文化学科 教授)
山下悠貴乃氏(十文字学園女子大学 教育人文学部 文芸文化学科 講師)
 - ⑤ 「大学が目指すソーシャルインパクトと教育における新たな日本語ボランティア単位システム」
鮮于・媚(ソヌ・ミ)氏(国立大学法人埼玉大学 大学院人文社会科学部研究科 准教授)
 - ⑥ 「地域共創ーダイバーシティ課題解決ーレジリエント社会研究」の三位一体による実践的な多文化共生教育の全学展開 野中進氏(国立大学法人埼玉大学 理事(教学・学生担当)・副学長)
- 16:45 討議・質疑応答・統括
- 17:00 閉会のご挨拶
- 17:05～ 交流の時間

報告

参加者総勢169名(会場84名、オンライン85名)を得て、盛会に終了いたしました。

パネルディスカッション前半では、高柳なな枝様(地球っこクラブ2000)より「教える/教えられる」という枠を超えた「**市民性教育**」の実践の秘訣が共有されました。新船孝子様((公財)埼玉県国際交流協会 事務局長)からはCEFRに基づいたプログラムを取り入れた「**公的日本語教室**」の公開を予定しているというお話がありました。後半では、与野学院日本語学校、十文字学園女子大学、埼玉大学より地域日本語教育の実践報告があり、「**リソースの共有**」、「**多層的な人材の育成**」、「**多文化共修**」というキーワードが出てきました。その後討論では、様々なご立場からご意見やご質問を頂戴し、大盛況のうちに幕を閉じました。**地域、行政、大学**が立場や背景を超えて、また「埼玉県」という枠を超え、情報や意見を共有する場となりました。

ご参加者の皆様に感謝申し上げます。

発表者様方のご厚意により資料を公開しております。

以下のリンクよりアクセスください。

<https://drive.google.com/drive/folders/1tzA9dKUASCpNVBJBOu6BZQg1qcgKJl3?usp=sharing>

情報交換会の様子

